

年頭にあたって

市民の皆様、あけましておめでとうございます。

新年を迎え、私は、市民生活の安心を支える市政の的確な対応に努めながら、まちの将来をしっかりと見据え、市民の皆様が安心して暮らし、このまちを次の世代に誇りを持って引き継いでいくことができるよう、全力を尽くす決意を新たにしております。

昨年を振り返りますと、基幹産業であります農業は、主要作物の水稲が「やや良」となったのはじめ、農作物全般でおおむね平年並みか、平年を上回る収穫となり、3年ぶりの豊穣となったことは、農家の皆様の一方ならぬ努力が結実した結果であると喜んでおります。

市を取り巻く財政環境は、景気の低迷に伴う税収等の落ち込み、さらには地方交付税をはじめとした財源確保が極めて厳しい状況ではありますが、皆様の生活の質的向上と地域振興を図る施策はしっかりと行うことができました。

私は「市民本位のまちづくり」と「自主自立のまちづくり」を基本姿勢に、皆様と一緒に「人にやさしい温かい街づくり」を確実に進めるため、重点課題であります福祉・医療・教育の充実につきましても、乳幼児等の医療費助成、保育所・幼稚園の保育料等の負担軽減、北海道教育大学岩見沢校との連携、市立総合病院を核とした市内各病院との連携の強化、学校施設の計画的な整備・改修など、それぞれの分野で形に現わすことができました。

また、低迷する地域経済や雇用情勢の悪化など、厳しい経済情勢が続いている中、市内事業所の事業資金の円滑化、新たな企業活動への支援、先端産業の立地や雇用・就業機会の創出、農業を支える担い手の育成・確保、農場農産品の積極的なPRや付加価値向上・ブランド化などの取り組みを通して、地域経済の自立と活性化に確かな手ごたえを感じております。

さらに、地方分権時代に対応しつつ、地域自らが創意工夫し、まちづくりを進めるため、「自助・共助・公助」を基本に、住民自治のさらなる推進、自主防災組織や防災ボランティアの育成、市民生活に直接結びつく生活基盤の整備、自主排雪事業の支援など、市民の皆様が安全に、安心して暮らすことができるまちづくりを、着実に前進させてまいりました。



市長も驚くまちづくりの意見が飛び出した北村中の移動市長室

皆様から多くの意見や提案をいただきながら策定を進めてきた中心市街地活性化基本計画が、昨年11月に国の認定を受けました。中心市街地の核店舗である西友岩見沢店の閉店など、厳しい状況にはありますが、この計画をもとに、駅周辺地区の整備をはじめ、中心市街地の再生やにぎわい創出を目指し、皆様からの意見や提案、さらには民間の活力も積極的に取り入れながら取り組みを進めてまいります。

この春には、一昨年完成したJR岩見沢駅舎に併設して工事を進めてきた公共施設部分の有明交流プラザと南北を結ぶ有明連絡歩道、そして駐輪場が完成し、皆様に利用してもらえようになります。この有明交流プラザは、市民サービスセンターや観光物産コーナーをはじめ様々な機能があり、通勤や通学で利用する方だけでなく、広く市民が交流できる場所として、これからのまちづくりにおいても中心的な役割を果たすこととなります。また、この施設からつながる駅前通りも拡幅計画がまとまり、岩見沢の顔にふさわしい開放的な街並みの誕生が今から楽しみです。

岩見沢の優れた情報通信（ＩＴ）基盤を活用して、これまでもコールセンターなどが進出し、地元雇用が進んでいるのに加え、今年さらには、関連企業の進出や創業が加速するなど、地域経済の活性化に大きな期待をしております。

私はこれからも市民の皆様と一緒に汗をかき、声に耳を傾け、新岩見沢市総合計画が示す将来の都市像「人・地域が輝く緑と活力に満ちた文化都市」を目指し、全力でがんばっていく決意でありますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が市民の皆様にとってよい年でありますようご祈念申し上げます。

平成21年 元旦